

【 概 要 】

2013年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【フラット35利用者編】(第2回)

I 調査の概要

調査対象期間(2013年7月～2013年10月)に民間住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、そのうちフラット35利用者についての結果をとりまとめたものである。回答数:149件

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 フラット35を知るきっかけは、「住宅・販売事業者」が最も多い

- ・フラット35を知るきっかけは、「住宅・販売事業者」(26.2%)が最も多く、次いで「インターネット」(20.1%)、「新聞記事」(18.8%)となっている。フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比較すると、「インターネット」、「新聞記事」、「住宅情報誌」、「テレビ」、「新聞広告」等の影響が大きい。

<p2>

2 インターネットで収集した住宅関連情報は、「住宅ローン返済額に関するシミュレーション」が最も多い

- ・インターネットで収集した住宅関連情報は、「住宅ローン返済額に関するシミュレーション」(60.0%)が最も多く、次いで「住宅ローンに関する情報(金利情報等)」(56.7%)である。<p.4>

3 フラット35を利用した理由は、「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」が最も多い

- ・フラット35を利用した理由は、「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」(48.3%)が最も多く、次いで「金利が低い」(43.0%)、「フラット35Sを利用したい」(16.8%)となっている。<p.5>